

近藤芳樹 以迄 國學者。享和元年五月二十五日周防國生れ、明治十三年一月二十九日歿（一八二一—一八〇）。舊姓田中、諱裕、字子藩・秀年、幼名源吾・源次郎、晉一郎・晉一、田中源次。號寄居子庵、藤原宜寸、藤原芳樹、風月史生。村田春門、木居大平等公學ぶ。萩藩上河藤氏を繼ぐ家執事を開く。元治元年藩費明倫館助教、維新後御歌所長官、明治八年宮内省文藝御用掛、翌年の東國行幸、十一年の北陸行幸、公供奉。著書「抄宗察叢書・卷一」（神道訓義）、「藤原宜寸名、史臣眞微合著、明治二年一月本察粹」、源讀眞旨（明治九年十一月松村峯太郎刊）、十符の普薦（全四冊）（内題「從駕十符の普薦」明治九年十一月宮内省藏版、松村春輔專賣）、陸路廻記（全二冊）（内題「くねおちの記」明治十二年六月宮内省藏版、山口忠助發賣）、大江匡房勲傳（村田峯次郎編、明治二十二年十月一日稻垣常三郎刊「長周叢書」）、學「三葉の徳合冊」（安部眞直合著、村田峯次郎編、明治二十四年一月二十一日稻垣常三郎刊「長周叢書」）等。